

# 平成22年度予算編成方針の概要

## I 国の状況

### 1 経済の状況

全体としては景気が持ち直してきているものの、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にある

先行きについては、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、雇用情勢の一層の悪化や、海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動の影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある

### 2 財政の状況

これまでの国債発行残高の累増などにより、危機的な状況にある

## II 予算編成の基本的考え方

1 景気後退の影響が依然として強く残ることにより市税収入が更に減少する見通しであるほか、少子高齢化の進行などに伴い、社会保障関係経費が増加することにより、財政制約が高まる

2 個性と魅力にあふれる「ふるさと・いわき」づくりの実現のため、「新・いわき市総合計画基本計画」に基づく事業・施策を着実に推進

3 真に必要な市民ニーズにこたえるため、既存事業についても積極的に事業効果の検証を行い、事業の選択と集中を推進し、限られた財源の最適投資を追求するなど、歳入規模に見合った歳出構造への転換を引き続き推進

#### (1) 中期財政計画目標の達成

◇厳しい財政環境を乗り越えるため、中期財政計画の目標達成に向けた予算編成に取り組み、将来にわたり持続可能な財政運営を実現する

#### (2) 財政の健全化の推進

◇行財政改革行動計画に基づく行財政改革を着実に推進し、職員数の削減に努めるほか、行財政の簡素・効率化により経費の節減・合理化を図り、財政の健全化を推進する

◇市税等の徴収対策強化など自主財源の充実・確保に努めるとともに、人件費削減の効果額を償還財源とする退職手当債についても引き続き活用を図る

#### (3) 事業の選択と集中の推進

◇厳しい財政状況を踏まえながらも、真に必要な市民ニーズにこたえるために、既存事業についても積極的に事業効果の検証を行い、事業の選択と集中を推進し、限られた財源の最適投資を追求する

◇基金の一部について、引き続きその原資を取崩し自主財源を確保することにより、基金の目的に合致する施策を確実に推進する

#### (4) 各部の主体的な取組みの推進

◇新・いわき市総合計画実施計画に基づく政策的経費の枠配分方式により、市民サービスの現場にある各部等が市民のニーズを的確に捉え、ゼロベースの視点に立った自主的・主体的な事業の重点・選別化を推進し、厳しい財政状況下での市民満足度の向上を図る

## III 予算編成の骨子

1 年度間の見通しに立った**通年予算**

### 2 要求基準

i 義務的経費（人件費、扶助費、公債費）

・所要額とする

・人件費については、定員適正化計画に基づいた職員数の削減を図ることとする

ii 経常的経費（一般事業に係る経費、運営費等補助金）

・枠配分方式により、平成21年度当初予算計上の一般財源から3%削減した額を枠配分額とする

・運営費等補助金及び債務負担行為を設定している経費については、マイナスシーリング対象外とする

iii 政策的経費（新・市総合計画実施計画事業に係る経費）

・枠配分方式により、新・市総合計画実施計画に基づく一般財源を枠配分額とする

iv 臨時的経費（新・市総合計画実施計画に位置づけのない投資的経費及び指定事業に要する経費）

・所要額とする

v 特別会計に係る経常的な経費（事務・施設管理経費など）

・一般会計に準じ、平成21年度当初予算の総額から3%削減した額での要求とする